
なろうの異世界転生モノとかについて話し合う物語

葵 秋一

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

なろうの異世界転生モノとかについて話し合う物語

【Nコード】

N9634Z

【作者名】

葵 秋一

【あらすじ】

喫茶店「えーでわるて」で、なろう、とかいうサイトに小説を投稿している二人の少年少女の物語、というのが主で実際は小説を書いている二人が、喫茶店でアイデアを出すために話し合っているという感じの物語です。言うならばラジオみたいなイメージです。そして小説について話し合う二人は今日も、いろいろとグダグダな話をしていきます。一応、なろうと直接話が絡んでいて、主に異世界転生とかについて超軽口のコメディー的な議論をするような形式で書いていく予定です。が、ちゃんと普通に小説のことも話し合う

話としても成立する予定です。

本編に入る前に読んで欲しい事柄です

この小説は、「小説家になろう」の異世界トリップモノや、小説についての意見を言うものではありますが、決して馬鹿にするという話ではありません。

また、エッセイではありません。ちゃんと、主人公がいてヒロインがいて、物語みたいなものがあります。

この話は作者の「小説家になろう」や、小説についていろいろなもの考えを、かなり軽めのコメディ形式であくまで物語として展開する予定です。

ですが、もしこれを読んで不快だと思われた方は「戻る」を押すことをおすすめします。

というわけで、かなりグダグダな話になると思いますが、どうかよろしく願います。

あらすじ

喫茶店「えーでわるて」

不思議な喫茶店、と僕達が住む青葉町で噂されているのはきっと小説を書くのが好きな人間がここに集まるからだろう。

その店の奥側のテーブル席にはいつも同じ人達。

ノートパソコンをテーブルの上におき、横には一般小説やライトノベルが無造作に置かれている。

そして、対面に座っているのは二人の人物で、一応この話の主人公である僕こと久山くやま 高明たかあきとちょっとした知り合いの女の子、成瀬なるせ

ますみ
真澄。

僕達は小説を書くのが好きで、とあるサイトで自作小説を投稿している仲だ。

そして、今日もここでいろいろと小説についての議論を展開しているのです。

なのですが、彼女はちょっと意見を述べると熱く語る人物でもあります。

本編に入る前に読んで欲しい事柄です（後書き）

もしこの話が気になるのであれば、一旦お気に入りに登録しておいて、つまらなかつたら後にはっさりと消していただけるとありがたいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9634z/>

なろうの異世界転生モノとかについて話し合う物語

2011年12月30日00時47分発行